

令和7年度

「運営に関する計画・自己評価(最終評価)」
及び「学校関係者評価」

大阪市立加美北幼稚園

令和8年3月

大阪市立 加美北幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

幼児期は、幼児にふさわしい環境の下で、人格形成の基礎を培うことが大切である。周りの大人に愛され、安心して活動できる環境が大切であるが、社会変化や少子化、コロナ禍での生活による人との関わりの減少などにより、存分に身体を動かして遊んだり安心な遊び場で遊んだりする環境が少なくなっている。また、家族以外の大人や地域の人々、同年齢や異年齢の子どもとのコミュニケーション力や社会性を育むことは難しくなっている。

幼児期に必要な経験が大切であることを保護者へ知らせる重要性も感じる。園に通う子どもたちが、いろいろな遊びを体験すること、家族や地域などの多様な人とふれあえる機会を工夫し、避難訓練を通して安全な生活に必要な態度を身につけること、生活リズムを整え幼稚園に登園すること、生き生きと遊びながら体力づくり、言葉でのコミュニケーション能力の育成、基本的な道徳心、社会性の育成を課題と捉えた。

そこで、4年目となる令和7年度は、中期目標の実現に向けて取組内容や指標を以下のようにする。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 一人一人を大切にされた教育活動を進める中で、ともに育ち合う保育内容を工夫し、保護者アンケートで「友達に親しみを感じていますか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。
- 子どもが安心してのびのびと遊べる環境づくりの工夫を行い、保護者アンケートで「幼稚園に行くことを楽しみにしていますか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。
- 安全教育や防災教育に関する取り組みを通し、保護者アンケートで「幼稚園は、避難訓練や安全指導（交通安全・防犯）などで、子どもは災害時の行動の仕方がわかってきましたか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 遊びを通して総合的な指導を行い、子どもたちが主体的に遊びを楽しめるような保育内容を工夫し、保護者アンケートで「自分の思いを伝えたり相手の思いを聞いたりする姿が増えたと感じますか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。
- 主体的に運動する意欲を育てるための取り組みを行い、保護者アンケートで「幼稚園に通うようになって、体を動かすことが好きになり、体力が向上しましたか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。
- 健康な生活習慣を身に付けるための指導方法や教材を使い、保護者アンケートで「自分の体や健康への興味・関心が高まりましたか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 親子で絵本に関わる機会を増やし、保護者アンケートで「幼稚園は親子で絵本を読む機会をつくり、絵本に親しみをもてるような取組をしていますか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。
- 身近な人や地域の多様な人と関わる楽しさを味わえるような活動を工夫し、保護者アンケートで「子どもは、交流の中でいろいろな人に親しみをもつようになってきましたか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。
- 就学前教育カリキュラムを取り入れた保育内容を家庭や地域に発信するための取り組みを工夫し、保護者アンケートで「幼稚園は就学前教育カリキュラムに基づいた教育内容を家庭や地域に向けて発信する工夫を行っていますか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

- 一人一人を大切にした教育活動を進める中で、ともに育ち合う保育内容を工夫し、保護者アンケートで「友達に親しみを感じていますか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。
- 子どもが安心してのびのびと遊べる環境づくりの工夫を行い、保護者アンケートで「幼稚園に行くことを楽しみにしていますか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。
- 安全教育や防災教育に関する取り組みを通し、保護者アンケートで「幼稚園は、避難訓練や安全指導（交通安全・防犯）などで、子どもは災害時の行動の仕方がわかってきましたか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

- 遊びを通して総合的な指導を行い、子どもたちが主体的に遊びを楽しめるような保育内容を工夫し、保護者アンケートで「自分の思いを伝えたり相手の思いを聞いたりする姿が増えたと感じますか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。
- 主体的に運動する意欲を育てるための取り組みを行い、保護者アンケートで「幼稚園に通うようになって、体を動かすことが好きになり、体力が向上しましたか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。
- 健康な生活習慣を身に付けるための指導方法や教材を使い、保護者アンケートで「自分の体や健康への興味・関心が高まりましたか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

- 親子で絵本に関わる機会を増やし、保護者アンケートで「幼稚園は親子で絵本を読む機会をつくり、絵本に親しみをもてるような取組をしていますか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。
- 身近な人や地域の多様な人と関わる楽しさを味わえるような活動を工夫し、保護者アンケートで「子どもは、いろいろな人に親しみをもつようになってきましたか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。
- 就学前教育カリキュラムを取り入れた保育内容を家庭や地域に発信するための取組みを工夫し、保護者アンケートで「幼稚園は就学前教育カリキュラムに基づいた教育内容を家庭や地域に向けて発信する工夫を行っていますか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括及び中期目標に対する自己評価結果

- ・本年度目標及び中期目標の達成に関しては、すべての視点において、目標を上回って達成した。
- ・人との関わりや絵本とのふれあい、運動遊びや避難訓練など、計画的かつ子どもの実態に沿った取組みを一年通して包括的に行なってきたことが、いろいろな経験や遊びを通して成長する子どもの姿へとつながった。特に、人との関わりは近隣学校などとの交流事業や園内の異年齢交流の深まり、親子で絵本を楽しむ姿などさまざまな幼稚園教育活動の充実につながったと感じる。
- ・支援を必要とする子どもの実態把握に努め、保護者や各機関（巡回支援・区役所・療育など）との連携を取り、子どもたちの成長につながるような支援の仕方を考えてきた。子どもの思いを受け止め、無理なく支援してきたことで、集団生活に慣れ充実した幼稚園生活を送ることができている。
- ・子どもが健康な生活を送るために、実態や発達段階から内容を考慮して保健指導に取り組んだ。子どもが分かりやすい教材となるよう工夫したり、保健日よりやホームページ、保護者会などで指導内容を保護者に発信したりすることで、健康的な生活習慣の定着につながった。
- ・各項目の取組み内容の次年度への改善点を踏まえ、子ども一人一人を大切にす教育の充実、安心・安全な園づくりに努めて、地域、保護者の信頼を得られる幼稚園となるよう、新たな目標の達成に努めていきたい。
- ・中期目標に対する自己評価として、スモールステップの観点でできることからひとつずつ課題や目標を達成していくことで、目標をすべての視点において達成することができた。教職員の異動が年度ごとにある中で、目標を新年度に共通理解して新たに協力体制を築きながら実践していくことの難しさを感じながらも、目標があるからこそ協働できるという目的意識をもつことの大切さも感じることもできた。
- ・今後も、長期的な見通し、短期的な見直しを繰り返しながらより良い幼稚園運営に向けて、教職員全員で取り組んでいく。

(様式2)

大阪市立加美北幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○一人一人を大切にされた教育活動を進める中で、ともに育ち合う保育内容を工夫し、保護者アンケートで「友達に親しみを感じていますか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。</p> <p>○子どもが安心してのびのびと遊べる環境づくりの工夫を行い、保護者アンケートで「幼稚園に行くことを楽しみにしていますか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。</p> <p>○安全教育や防災教育に関する取組を通し、保護者アンケートで「幼稚園は、避難訓練や安全指導（交通安全・防犯）などで、子どもは災害時の行動の仕方がわかってきましたか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <p>支援を必要とするすべての子どもの実態把握を行い、関係機関と連携しながら個々の実態に応じた支援を行う。</p> <hr/> <p>指標・学期に1回以上特別支援園内委員会を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none">・挨拶を通して人に親しみがもてるよう、挨拶をする習慣が身につくような取組を行う（欠席調べ・降園時）	B
<p>取組内容②【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の充実】</p> <p>子どもが安心して環境に主体的に関わり、遊びたくなるような環境構成をする</p> <hr/> <p>指標・一人一人が興味や関心をもてる保育環境を準備し、月1回以上話し合っって再構成する。</p>	B
<p>取組内容③【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の充実】</p> <p>日常生活や有事の際に、正しく行動できるよう安全に対する意識を高める。</p> <hr/> <p>指標・降園指導や安全教室を年3回以上実施する。</p> <ul style="list-style-type: none">・年間計画を立て、避難訓練を実施する。	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①【基本的な方向2、豊かな心の育成】

保護者アンケートで「**友達に親しみを感じていますか**」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が95%であった。

1学期は新年度の最初に園内委員会を設け、5歳児、4歳児の支援を必要としている子どもを把握し、実態をつかめるよう話し合った。その都度機会を見つけては関わり方や支援の仕方など、担任を中心として話し合う機会をもっている。

6月の巡回支援では、個々にあった支援の仕方を指導してもらい実践している。

運動会や作品展、生活発表会などの行事や園外保育などで、どこで支援が必要かなど園内委員会を設けて話し合う場をもち、園全体で連携するようにした。そのほかにも関係機関と連携をとったり、見学に行かせていただいたりと、支援指導委員と密に連絡をとることで、個々の支援の仕方を考え実践している。

挨拶に関しては、各クラスで当番を決め、人前で挨拶する習慣が身につく親しみがもてるようになってきている。5歳児は、朝、保育室でのあいさつ当番や降園時に保護者を含めた全体の前で挨拶することで、自信につながり、挨拶の大切さにも気付けるようになってきている。4歳児も登降園時に当番を決め挨拶をしたり、月日や天気なども発表したりしている。当番が回ってくることを待ち望んでいる姿が見られる。

取組内容②【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の充実】

保護者アンケートで「**幼稚園に行くことを楽しみにしていますか**」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が100%であった。教師同士で、子どもの実態を伝え合い、環境構成を考えていった。1学期は、夏野菜を育てていくにあたり、ジョウロの数が少なく、子どもたちが水やりをしようと思ったときにできない状況を見て、ペットボトルのキャップがシャワーになる道具を準備したことで、存分に水やりができるようにした。また、一輪車を頑張る幼児が増えたので、一輪車を購入したりして、子どもたちの意欲を高めた。9月には、教育指導員の先生の助言を受けて、一輪車の遊びの中で、途中休憩したり目標にしたりできるように、つかまれる所をつくるのに、どのような物が適しているのかを教職員で試行錯誤して用意した。月に1回以上子どもたちの様子を教職員で話し合ってきたことで、このような環境の再構成ができたように思う。

また、一年を通じた計画的な環境構成では、入園した幼児が安心して過ごせるように、サーキット遊びや砂場遊びなどの環境を用意したことで、一人一人が好きな遊びを見つけて遊ぶ姿がみられた。5月頃からは、暑さを感じ始めたので、泥んこ遊びや色水遊びなど水や泥の感触を楽しめる遊びを用意したことで、試したり工夫したりして遊んだ。6月頃からは、5歳児はクラスみんなで大きな家をつくったり、4歳児はお祭りの出店をつくったりして遊びのイメージを共有して遊んだ。

2学期は、体を動かす遊びができるよう発達に合った運動遊具を用意した。10月後半からは、かいたりつくったりすることを存分にできるように、園で保管していた素材と家庭と連携して集めたので、表現活動が充実した。

3学期は、クラスで友達や教師と一緒に楽器遊びや合奏を通じて、リズムを感じたり、歌声を合わせたりして、音楽表現の楽しさを感じた。また、クラスで好きな絵本を題材にした劇遊びを通じて、どうしたら見ている人に伝わるのかを考え、身体表現や言葉の表現を工夫しながら活動して楽しんだ。

年間を通して、遊びたくなるような環境の工夫をしていったことで、子どもたちが主体的に環境に関わり、存分に遊ぶ姿へとつながった。

取組内容③【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の充実】

保護者アンケートで「幼稚園は、避難訓練や安全指導（交通安全・防犯）などで、子どもは災害時の行動の仕方がわかってきましたか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が90%であった。避難訓練では、計画的に訓練を実施し段階的に有事の際の行動や約束を身をもって学んでいった。また、安全指導では、警察の方に来ていただく親子教室の講演形式の指導だけでなく、園外保育前の事前保育として、電車の乗車マナーや安全について、階段の昇降の際の約束など日々の保育の中で必要と思われる安全指導を機会をとらえて実施した。その結果、園内だけでなく家庭でも約束を再確認したり園外保育地で約束を実践し守ったりする姿につながった。

また、保護者引き取り訓練や津波による避難訓練、不審者対応訓練など様々な場面を想定した訓練を繰り返し行うことで、子どものみならず教職員・保護者が共に、いざという時に慌てることなく対応していく意識がもてるようになった。家庭でも、有事の際の避難方法や備え、ご自分の体験談をもとにして災害の怖さ等を子どもたちに伝えていく機会となったことも大きな成果である。

次年度への改善点

取組内容①

- ・今後も関係機関とも連携をとっていきたい
- ・園内委員会の時間をしっかり取り、支援の内容を深めていきたい。

取組内容②

・引き続き、子どもたちが安心して過ごしたり、夢中になって遊んだりできるような環境を用意したり、再構成したりできるよう、教職員が子どもの様子や遊びの中の学びを話し合う機会を多くもてるようにしたい

取組内容③

- ・計画的な避難訓練・安全指導の実施を地域や近隣学校の協力を得ながら進めていきたい。

(様式2)

大阪市立加美北幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 学校園の年度目標 ○遊びを通して総合的な指導を行い、子どもたちが主体的に遊びを楽しめるような保育内容を工夫し、保護者アンケートで「自分の思いを伝えたり相手の思いを聞いたりする姿が増えたと感じますか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。 ○主体的に運動する意欲を育てるための取り組みを行い、保護者アンケートで「幼稚園に通うようになって、体を動かすことが好きになり、体力が向上しましたか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。 ○健康な生活習慣を身に付けるための指導方法や教材を使い、保護者アンケートで「自分の体や健康への興味・関心が高まりましたか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 豊かな言葉や表現を身に付け、無理なく自分なりの表現で、伝え合いを楽しめるような取り組みを行う。 ----- 指標・自分の思いを伝えたり相手の思いを聞いたりする機会を1日に1回以上つくる。	B
取組内容②【基本的な方向5、健やかな体の育成】 子どもの実態に合わせた、体を動かす楽しさを感じられるような活動内容・環境の工夫をする。 ----- 指標・子どもの実態把握を教職員全体で行う。(週1回以上) ・発達段階を踏まえ、体を動かす遊びを無理なく取り入れる。	B
取組内容③【基本的な方向5、健やかな体の育成】 自身の体や健康に関心をもち、健康的な生活習慣を身に付けられるような取組を行う。 ----- 指標・子どもの実態や発達段階を踏まえた保健指導を毎月1回以上行う。 ・保健に関する取組を保健だよりや掲示物、HPを通して保護者に伝え、家庭との連携を図る。	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】

保護者アンケートで「自分の思いを伝えたり相手の思いを聞いたりする姿が増えたと感じますか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が100%であった。日々の振り返りの時間や思いを伝える時間を設けるようにし、自分なりの言葉で、楽しかったことや明日したいことなどを伝え合えるようにしている。5歳児は、自分の思いを伝えるだけでなく、友達言葉にも耳を傾けられるようになってきている。4歳児は、聞いてほしい気持ちを持ち、嬉しそうに話をする姿が見られる。また、自己発揮をする力がついてきているので、日々の積み重ねの大切さを感じる。3学期には、生活発表会の取り組みで、互いのクラスの見合いっこをした際に、それぞれの良かったところを伝え合った。クラス以外でも自分の思いを伝える姿が見られた。また、保育所や小学校との交流の中で、作品展の感想を手紙掲示形式で伝え合ったり、小学校からの招待状をもらったことで期待を高めたりし、文字によるやりとりで伝え合うことも経験した。

取組内容②【基本的な方向5、健やかな体の育成】

保護者アンケートでは「幼稚園に通うようになって、体を動かすことが好きになり、体力が向上しましたか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が100%となった。子どもの発達段階や興味・関心に沿った遊びを取り入れ、週一回以上の話し合いで把握した実態に応じて環境を再構成していった。4歳児は入園当初、簡単なサーキット遊びを中心に5歳児に手を持ってもらいながら取り組んでいたが、その中から手軽に自分たちで遊べるフープの遊びが盛んになっていったことから運動会のリズム遊びにも取り入れ、継続的に遊んでいった。また、運動会以降も5歳児の姿に憧れを持ち、一本歯下駄や一輪車、なわとびなどに挑戦する姿が多く見られた。5歳児は、計画的にチャレンジ遊びとして、一輪車や一本歯下駄などを好きな遊びに取り入れながら、運動会を発表の場に見据えて継続して取り組んでいたことで、運動会ではたくさんの人に拍手をもらい自信につながった。今年度は運動会の活動内容をさらに厳選し、異年齢(4.5歳児合同)でリズム遊びに取り組んだ。発達段階にあった遊びを異年齢で見合い遊んでいくことが互いの刺激となり、より楽しく取り組むことができた。その経験が、普段の関わりにも活かされ、一緒にリレーごっこやサッカー遊び、鬼ごっこなどを動かす集団遊びを誘い合って異年齢で遊ぶ姿へとつながった。

年間を通して、幼児の実態に合わせた運動遊びが展開されるよう、運動遊具の充実を図ったことで魅力あるやってみたいと感じる環境となり、楽しく体を動かす姿につながった。

取組内容③【基本的な方向5、健やかな体の育成】

保護者アンケートで「自分の体や健康への興味・関心が高まりましたか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答は90%であった。自分の体や健康への興味や関心を育み、健康的な生活習慣が身に付くように、子どもの実態や時期に合わせた健康課題を踏まえ、下記の通り保健指導を行った。

	4歳児	5歳児
4月	清潔「丁寧な手の洗い方」	
5月	「体の名前クイズ・健康診断の大切さと受け方」	
6月	清潔「歯みがきの大切さ」	清潔「歯の生え変わり」と6歳臼歯のみがき方」
	生命の安全教育「プライベートパーツと水着の着替え方」	
7月	病気の予防「熱中症の予防と暑さ指数について」	

8・9月	生活リズム 「早寝・早起き・朝ごはんの規則正しい生活リズムについて」
	清潔 「丁寧な歯のみがき方」
10月	食育 「3色食品群について」
11月	「良い姿勢について」
12月	清潔 「石鹸を使った手洗いで風邪をふせごう」
1月	清潔 「風邪予防のためのうがいの仕方」
2月	生活リズム 「くじら列車に乗ろう（早寝早起きの大切さ）」
3月	「1年間の振り返りクイズ」

指導内容は、年齢によって使う絵本や紙芝居を変えたり、視覚的教材を多く用いたりし、子どもにとって分かりやすく、興味をもって話が聞けるようにした。指導後、手洗いの手順のイラストや使用した教材をカードにして配布したり、3色食品群や良い姿勢のポイントなどの教材を保育室や保健室前に掲示したりした。担任と連携し、日々の保育の中で継続的に声掛けをすることで、子どもが指導内容を意識して行動する様子が見られ、健康に過ごそうとする姿につながった。

保護者啓発では、ホームページや保健だより保健指導号（計8回発行）を使って、保健指導の内容を保護者に知らせた。終業式の保護者会や降園時の連絡の際などには、教材を見せて指導内容を伝えたことで、保護者の関心を得られた。

長期休業中には、「がんばりひょう」を配布した。夏季休業中には歯みがきをしたら色を塗るものを、冬季休業中には手洗い・うがいをしたら色を塗るものを配布した。保護者のコメントから、休みの間に家庭でもすすんで歯みがきや手洗い・うがいに取り組んだ様子が分かり、家庭での子どもの様子を基にして幼稚園での指導を模索し取り組むことで、より実態に応じた指導ができた。また、食べた旬の野菜に色を塗るところでは、「毎日野菜をたべられました」「苦手な野菜も少し挑戦してみようと頑張っていました」といったコメントが見られ、いろいろな野菜を積極的に食べることにつながった。

次年度への改善点

取組内容①

- ・多国籍化が進む今日では、引き続き伝え合う機会を大切にしていき、自分の思いをいろいろな方法で伝えられるようにしていきたい。

取組内容②

- ・発達段階に沿った運動遊びだけでなく、誰もがやってみたいと思えるような遊びを探り、異年齢の関わりをねらいながら引き続き体力向上に努めたい。

取組内容③

- ・子どもがすすんで健康的な生活に取り組めるように、今後も興味・関心がわくような指導内容や教材の工夫に努める。
- ・健康的な習慣が身に付くように、引き続き機会を捉えて保護者啓発を行い、家庭と連携して取り組めるようにする。

大阪市立加美北幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○親子で絵本に関わる機会を増やし、保護者アンケートで「幼稚園は親子で絵本を読む機会をつくり、絵本に親しみをもてるような取組をしていますか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。</p> <p>○身近な人や地域の多様な人と関わる楽しさを味わえるような活動を工夫し、保護者アンケートで「子どもは、いろいろな人に親しみをもつようになってきましたか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。</p> <p>○就学前教育カリキュラムを取り入れた保育内容を家庭や地域に発信するための取組を工夫し、保護者アンケートで「幼稚園は就学前教育カリキュラムに基づいた教育内容を家庭や地域に向けて発信する工夫を行っていますか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。</p>	B
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向8、生涯学習の支援】</p> <p>親子で絵本に関心をもてるよう、絵本に触れ合う機会を多くもったり、楽しんだりできるような保育内容を工夫する。</p>	B
<p>指標・幼児期読書環境整備事業ボランティア派遣を年に2回以上行い、絵本に親しむ機会を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひらちゃんえほんふれあいノートを活用した絵本貸出を週に1回2冊ずつ持ち帰り、親子絵本貸出を年間8回以上、親子絵本読み聞かせ会を年に5回以上行い、絵本への興味につなげる。 	
<p>取組内容②【基本的な方向9、家庭・地域と連携・協働した教育の推進】</p> <p>年間計画に基づき、様々な人に親しみを感じられるような交流の機会を意図的にもつ。</p>	B
<p>指標・年間計画に基づき、学期に1回以上の交流を実施し、様々な人とふれあう機会を設ける。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>就学前教育カリキュラムを活用した保育実践に取り組み、子どもの育ちを短期・長期で読み取り発信する。</p>	

<p>指標・就学前教育カリキュラムを活用した教育活動や子どもの様子を、HPを活用し保護者や地域に発信する機会をもつ。(週1回以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスだよりや保護者会に子どもの育ちや保育活動をまとめ、発信する。(クラスだより年6回、保護者会でのパワーポイント年3回) 	B
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容①【基本的な方向8、生涯学習の支援】</p> <p>保護者アンケートで「幼稚園は親子で絵本を読む機会をつくり、絵本に親しみをもてるような取組をしていますか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が100%であった。今年度は絵本貸し出しの冊数を増やしたことで、よりたくさんの絵本が見れたり、興味の幅が広がってきている。また平野区読書推進活動から「ひらちゃんえほんふれあいノート」に読んだ冊数が増えることを目標にしたり、保護者もしっかり感想を書いてくださり、親子で楽しんでいる。目に見えて冊数が増えたことが分かりやすかったことや、また50冊に達成した子どもが増えたことがアンケートの結果につながっている。表彰式も開催していただき、今後の励みになると思う。</p> <p>絵本の読み聞かせも、親子一対一ですることによって、親子間の温かい雰囲気が伝わってくる。保護者代表で親子の前で絵本を読んでもらったり、教員が読んだりしたことにより絵本を楽しむことにつながった。</p> <p>1学期、2学期と、図書館より読み聞かせのボランティアの方に来ていただき、パネルシアターを見せてもらったり、紙芝居やパペットを使ったお話をしてもらったりしたことで、絵本に親しむだけでなく、保育の充実にもつながり、保育室でパネルシアターを楽しむなど、普段の遊びに取り入れていく姿につながった。</p> <p>図書館から絵本貸し出しは、親子読み聞かせに活用でき、たくさんの本に触れあえる時間をもて、より絵本に親しむ機会になった。</p> <p>取組内容②【基本的な方向9、家庭・地域と連携・協働した教育の推進】</p> <p>保護者アンケートでは、「子どもは、いろいろな人に親しみをもつようになってきましたか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答は、100%であった。自園では、異年齢交流を意図的に日々担任同士で声をかけあって一緒に活動できることをしたり、園庭で遊んだり、お弁当を食べたりする機会を多くもつようになっている。そのため、子どもたちも、自然と一緒に遊ぶようになってきている。また、4歳児は5歳児に憧れの気持ちをもつようになっている。</p> <p>近隣の保育所とは、6月、10月、11月、12月、2月の計5回の交流会を実施し、各園の園庭で一緒に、リレーやドッジボールをしたり、好きな遊びをしたりして自然な関わりがもてるようになっている。また、運動会や作品展で互いの取り組みを知らせあったり、見せ合いっこしたりしたことで、刺激となり、保育園の友達がしていたことを真似たり、思い出して、感動を共有したりして、たくさんの友達と遊ぶ楽しさを味わった。また、保幼小交流会で、小学1年生と関わる機会をもち、1年生に優しく接してもらい、「勉強は楽しいよ」と教えてもらった。また、保育園の友達とは同じ小学校へ行く友達を見つけ、交流会を通して進学に期待をもつことができた。</p> <p>未就園児活動を実施する際は、全園児が関われる機会をもったことで、小さい友達に親しみをもって、優しく関わろうとする気持ちももてるようになってきた。地域の方には、ジャガイモ畑でジャガイモ掘りや収穫した綿で糸をつくる綿の体験会をしてもらったので、貴重な経験ができた。体験を通して、人とふれあい、優しさも感じている。家庭とは、親子での凧揚げの場所をより使いやすい場所に変更したり、祖父母の会では近年の状況に</p>	

合わせて、会をなくし、作成したプレゼントを各家庭から都合の合うタイミングで渡してもらおうようにしたりして、状況に応じた計画をし、ねらいをもって実施した結果、無理なく交流する姿へつながった。

取組内容③【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

保護者アンケートでは「幼稚園は就学前教育カリキュラムに基づいた教育内容を家庭や地域に向けて発信する工夫を行っていますか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が100%となった。

クラスだよりや保護者会での発信は以下の通りである。(クラスだより各組6回、保護者会でのパワーポイント3回。)クラスだよりやパワーポイント作成にあたって、就学前教育カリキュラムに基づいた教育活動を振り返る機会となった。また、作成したものを皆で見合うことで教職員同士の研修となり資質向上にもつながった。

HPを活用し、保護者や地域に週1回以上教育活動や子どもの様子を発信できるように努めた。教職員全体で意識的に実施することで、普段の保育を「見える化」して切り取る目線や子どもの成長の姿を客観的にとらえる視点が身に付き、保育の質・教員の資質の向上につながった。

次年度への改善点

取組内容①

- ・家庭によって絵本に対する思いもまばらである。新しい絵本が入ったことなども知らせ、これまで以上に、絵本に興味をもってもらえるよう啓発をしていきたい。

取組内容②

- ・定期的に交流できるよう、連携をとっていく。
- ・小学校との交流では、2月に2校との交流をしたが、子どもの成長をねらって、活動の精選をしていきたい。

取組内容③

- ・引き続き、就学前教育カリキュラムを活用した教育活動と子どもの育ちを発信していくことで、幼児期に必要な経験を幼稚園の集団の中で獲得していくことの大切さを知らせていきたい。
- ・次年度は、アクションプランに基づき更に教員の資質向上と協働体制の再構築を目指したい。

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立加美北幼稚園 学校協議会

1 総括についての評価

- 保護者アンケートでは、いずれも目標を達成しており、評価については妥当である。
- 幼児の実態や興味・関心に合わせた環境の再構成を教育的意図をもち計画的に実施し、幼稚園が楽しいと皆が思えるような幼稚園づくりをこれからも進めていく。
- 人との関わりや絵本とのふれあい、運動遊びや避難訓練など、計画的かつ子どもの実態に沿った取り組みを一年通して包括的に行なってきたことが、いろいろな経験や遊びを通して成長する子どもの姿へとつながった。特に、人との関わりは近隣学校などとの交流事業や園内の異年齢交流の深まり、親子で絵本を楽しむ姿などさまざまな幼稚園教育活動の充実につながったと感じる。これからも包括的に実施していただきたい。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 一人一人を大切にされた教育活動を進める中で、ともに育ち合う保育内容を工夫し、保護者アンケートで「友達に親しみを感じていますか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。
- 子どもが安心してのびのびと遊べる環境づくりの工夫を行い、保護者アンケートで「幼稚園に行くことを楽しみにしていますか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。
- 安全教育や防災教育に関する取り組みを通し、保護者アンケートで「幼稚園は、避難訓練や安全指導（交通安全・防犯）などで、子どもは災害時の行動の仕方がわかってきましたか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。

- ・個々の実態に合わせた支援の在り方について引き続き共通理解の場を設ける。また教職員間がより密に連携を図り、困りごとを全職員に情報共有をして子どもの実態を把握し、園全体で子どもの育ちを支えていくようにする。
- ・これからも他の専門機関とも連携し、より多面的な支援の仕方を探っていく。
- ・年間を通して、遊びたくなるような環境の工夫をしていったことで、子どもたちが主体的に環境に関わり、存分に遊ぶ姿へとつながった。今後も自然豊かな広い園庭をいかして、環境の工夫をし、好奇心や探求心を育めるようにしていく。
- ・計画的な避難訓練・安全指導の実施を地域や近隣学校の協力を得ながら進めていきたい。また、自転車の安全教室など道路交通法の改正に応じたニーズに合った安全教育を実施していきたい。

年度目標

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 遊びを通して総合的な指導を行い、子どもたちが主体的に遊びを楽しめるような保育内容を工夫し、保護者アンケートで「自分の思いを伝えたり相手の思いを聞いたりする姿が増えたと感じますか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。
- 主体的に運動する意欲を育てるための取り組みを行い、保護者アンケートで「幼稚園に通うように

なって、体を動かすことが好きになり、体力が向上しましたか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。

○健康な生活習慣を身に付けるための指導方法や教材を使い、保護者アンケートで「自分の体や健康への興味・関心が高まりましたか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。

- ・多国籍化が進む今日、引き続き伝え合う機会を大切にしていき、自分の思いをいろいろな方法で伝えられるようにしていきたい。また、幼児同士が自分の思いや考えを話す、友達の思いを聞く経験ができるように、クラスや園全体での話し合いや振り返りの機会を多くつくる。挨拶だけでなく、人とコミュニケーションをとるために必要な言葉を丁寧に知らせていきたい。
- ・年間を通して、幼児の実態に合わせた運動遊びが展開されるよう、運動遊具の充実を図ったことで魅力あるやってみたく感じる環境となり、楽しく体を動かす姿につながった。次年度は、発達段階に沿った運動遊びだけでなく、誰もがやってみたく思えるような遊びを探り、異年齢の関わりをねらいながら引き続き体力向上に努めていく。
- ・担任と連携し、日々の保育の中で継続的に声掛けをすることで、子どもが指導内容を意識して行動する様子が見られ、健康に過ごそうとする姿につながった。次年度も引き続き、健康的な習慣が身に付くように、機会を捉えて保護者啓発を行い、家庭と連携して取り組めるようにする。

年度目標

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

- 親子で絵本にかかわる機会を増やし、保護者アンケートで「幼稚園は親子で絵本を読む機会をつくり、絵本に親しみをもてるような取組をしていますか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。
- 身近な人や地域の多様な人と関わる楽しさを味わえるような活動を工夫し、保護者アンケートで「子どもはいろいろな人に親しみをもつようになってきましたか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。
- 就学前教育カリキュラムを取り入れた保育内容を家庭や地域に発信するための取り組みを工夫し、保護者アンケートで「幼稚園は就学前教育カリキュラムに基づいた教育内容を家庭や地域に向けて発信する工夫を行っていますか」という内容の項目について「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を90%以上にする。

- ・絵本の読み聞かせを通じて、絵本が好きになってきている。次年度も保護者にも協力してもらい、親子絵本読み聞かせを継続して行き、より絵本に親しみ絵本に興味をもってもらえるよう啓発をしていく。
- ・地域の保育所との交流活動は継続していきたい。今年度のように、年度当初に年度計画をたて、交流内容、ねらいについて職員同士で共通理解して進めていくようにする。また、子どもの成長をねらって、活動の精選をしていきたい。
- ・引き続き、就学前教育カリキュラムを活用した教育活動と子どもの育ちを発信していくことで、幼児期に必要な経験を幼稚園の集団の中で獲得していくことの大切さを知らせていきたい。

3 中期目標についての評価

- いずれも目標を達成しており、評価については妥当である。
- 4年間という長期にわたり、段階的に目標を立て実践を重ね、目標を達成されたことは日ごろの教職員の努力があってこそだと感じる。課題や目標を共有しながらこれからも、長期的、短期的、多様な視点から幼稚園づくりを見つめて取り組んでいって欲しい。また、次年度からの取組「アクションプラン」には、地域や近隣学校との連携・協力がこれまで以上に必要となってくると思う。

4 今後の学校運営についての意見

- 様々な社会情勢の変化、災害事変などが起こりうる昨今だが、引き続き幼稚園と家庭、地域、近隣学校、関係施設が連携し、進めていく。
- 少人数のため、一人一人の幼児に目が行き届く良さをいかし、幼児の遊びからの学びを大切に環境構成や援助をし、大人になっても耀ける子どもをはぐくんでいって欲しい。